

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

春季彼岸会

三月二十一日(金)

午後二時より



今号の法語



拝む手も
殺す手も
同じ手の形をしている

内容
・四月二十四日は広済寺仏教婦人の集い
・蓮門会が新たなテーマでスタート!
・一向一揆終焉の地 鳥越の里
・福島への支援米が大活躍!

いつまでたつてもなくなならない
無差別殺人をはじめとする凶悪
事件。最近では「またか」と思う
くらい、日本を含め世界中でこ
のようなニュースが日々伝えられ
ています。

「何であんなことするんやろ
う?」「一体何を考えとるんや
ろう?」など様々に犯人について
思いを巡らすのですが、結局は
「あんなことする人の心ってわけ
わからんわ」と思考を停止させ
てしまいがちです。

その裏には、犯人が普通ではな
く「特別」なのであって、私はそん
な犯罪は絶対にしないという思
いがあるのではないのでしょうか。

しかし、どちらも同じ一人の人
間です。殺すのも人間なら、そ
の人を思つて拝む人だつてまた一
人の同じ人間なのです。

「特別」などありえません。世
の中で起こる様々な問題は、私
たちの「豊かな?」「生き方の裏に
ある、大きな「ひずみ」なのでは
ないでしょうか。

4/24(木)は、広済寺仏教婦人の集い



四月二十四日(木)に広済寺において、毎年恒例の「広済寺仏教婦人の集い」が開かれます。

受付開始は午前十時三十分から。会費は、昼食のお弁当代金を含め一三〇〇円となっております。

今年は、民舞の「華の



※左の二枚の写真は、昨年の様子です。オレオレ詐欺の寸劇が楽しかったですね！今年もお楽しみに！

会」さんにお越しいただきませう。法座は、石堤の長光寺、織田隆夫住職です。ぜひ皆さんお誘い合わせの上、お越しください。

お寺までの交通機関については、限りはありますが送迎もさせていただきますのでお気軽にお電話ください。

蓮門会が 新たなテーマでスタート！

連研履修者の集いである「蓮門会」が四月からテーマを新たにスタートします。

これまでは歎異抄たんいしょうを読んできましたが、四月からは一年間を一区切りとして、「阿弥陀經」あみだぎょうまたは「御文章ごぶんしょう」(身近なものを五つほど)をテーマにする予定です。



連研履修者の集いである「蓮門会」が四月からテーマを新たにスタートします。

会場は、五位組内の六寺院が順番に担当いたします。

年会費は、五千円ですが、初年度はなんと無料となっております。とりあえず一年間という方大歓迎です。

昨年は初の日帰り研修旅行(新潟県)も行い、仏教を学びながら会員相互の懇親を深めました。

テーマが御文章の場合は、「聖人一流章」や「白骨章」などを読んでいきます。

蓮門会第一回の日程については、今号の「お知らせ」をご覧ください。

一年間で全六回。基本的に四・五・六・七・十・二月の第一日曜日午後三時または四時

でお問い合わせは、広済寺まで。

一向一揆終焉の地 ～鳥越の里～



※鳥越城跡と、そこから眺めた風景

「この書き物を後世ご覧になつて語り伝えてほしい。五月二十四日に一揆が起きた。前田利家殿は一揆千人ばかりを生け捕りにされた。ご成敗は磔、釜に入れてあぶられもした。そのことを一筆書き留めておく」

この文は、一九三二年（昭和七年）に福井県武生市郊外の小丸城跡にて見つかった瓦に刻まれていたものです。

今から五百年ほど前の戦国時代、全国で起こる一向一揆（浄土真宗が関わった一揆）に時の権力者たちは大変悩まされていました。

ここ北陸も例外ではなく、越前・越中の一向一揆、中でも加賀の一向一揆は九十年にわたつて権力者の介在を防ぎ、加賀の国は「百姓の持ちたる国」とも呼ばれました。

先日、石川県白山市（旧鳥越村）を訪ねました。白山麗に位置する鳥越村は、山に囲まれ手取川が流れる今は大變のどかなところでした。

織田信長が室町幕府を滅ぼし、各地の一向一揆制圧に動き出したところ、この地に一揆側は鳥越城を築きました。徹底抗戦し、金沢御堂陥落後も最後まで戦い続けたのですが、一五八二年三月一日（本能寺の変の三カ月前）、柴田勝家配下の佐久間盛政によつて壊滅、長きにわたる一向一揆の戦いについて終止符が打たれたのでした。

最後は三百余人が捕えられて磔、「手取川の河原の残雪が朱く染まった」と伝えられています。その後しばらく、白山麗には人影を見なかったともいわれています。

壮絶な戦いの末に一向一揆は終焉しました。多くの民衆が命をかけ血を流しました。それほどまでして守りたかつたものは何だったのでしょうか？訴えたかつたものは何だったのでしょうか？もしかして無理矢理に戦わされていたのかもしれない。

今となつては真実はわかりませんが、数多くの犠牲の上に今の私たちの時代が築かれてきたのは間違いないことです。恨み辛みではありません。死んでいった方々を単純に賞賛するのではありません。今は静かな鳥越の里で、先人たちに思いを馳せ、今の時代に生きていく、ということを見つめさせられたご縁でした。



福島への支援米が大活躍！

昨年も多くの方々のご協力によって、福島県相馬地区への支援米プロジェクトを実行することができました。本当にありがとうございました。

さて、その支援米についてですが、先日ビックリする形で各メディアで報道されました。

先月、関東地方を含め東日本は記録的大雪でした。福島市の国道では、一昼夜を車内で過ごす人がおられたほど全く動かない大渋滞に陥っていました。

そんな全く動かない車列に対して、一台一台に声をかけ、手作りのおにぎりを配って歩いた方々がおられました。国道沿いの仮設住宅に住む飯館^{いいたて}村民の方々です。

高岡から届いていた支援米を使って握られたおにぎりは、

低血糖状態だった方の命を救うなど、まさに「命のおにぎり」として報道されました。

お知らせ

二〇一四年

五位組 歴史講座

三月十六日(日)

午後七時より

御講師 樽谷 雅好氏

(郷土歴史家)

講題 『古代から中世にかけての五位組地域』

場所 石堤 長光寺

春季彼岸会

三月二十一日(金)

午後二時より

御講師

五位組 教願寺 若院

岡西 好持 師

蓮門会

四月六日(日)

午後三時より

場所 麻生谷 西光寺

広済寺仏教婦人の集い

四月二十四日(木)

受付 午前十時半より

会費 一三〇〇円

(昼食込み)

御講師

五位組 長光寺

織田 隆夫 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※四月は休会します

編集後記

今号の記事でも書きましたが、福島への支援米のニュースが思わぬ形で私たちの耳に入ってきました。

「命のおにぎり」として報道された福島市松川の仮設住宅に住む方々。

実はこの松川の仮設住宅は、毎年年末に餅つきに行かせていただいている所でした。ちょうど昨年末も行ったばかりで、ニュース写真を見ると知っているお顔もチラホラ。

この松川の仮設は、高齢者の方々が中心でした。他の仮設において、若い子どもたちが皆の生きる支えとなっているのを見てきた私にとって、この松川の仮設には特別な思いがあります。

言葉にならない思いがしたありがたいニュースでした。

